

参考事例（アントニン・レーモンド作品）

1 建物概要

建物名称 旧藤澤カントリー倶楽部クラブハウス（グリーンハウス）
所在地 神奈川県藤沢市善行7-1-2（小田急江ノ島線「善行駅」より徒歩7分）
竣工 昭和7（1932）年
階数 地上3階／地下1階建
構造 鉄筋コンクリート造
建物延面積 1,415.49 m²
建物用途 県立スポーツセンターの総合受付窓口等（竣工時はゴルフ場クラブハウス）

2 建物変遷

昭和7年 ゴルフ場開設、クラブハウス竣工
昭和18年 海軍に徴用され閉場
昭和20年 アメリカ進駐軍が接収、クラブハウスは司令部となった。
昭和30年 県営藤沢総合運動場設置、クラブハウスは合宿所へ
昭和43年 県立体育センター設置、合宿所兼食堂となる。
平成29年 大規模改修工事
令和2年 リニューアルオープン（施設の総合受付窓口となっているほか、ラウンジ・ミーティングルームとしても使用されている。）
令和3年 国登録有形文化財の登録（登録基準2号 造形の規範となっているもの）

3 建物の特徴

竣工時の建物は、ゴルフ場の丘の上のグリーンに建つ白亜なスパニッシュスタイルでグリーンスペイン瓦が特徴の建物であり、その様子からグリーンハウスと呼ばれたようである。切妻造三階建の正面に車寄を張り出し、背面に二階建をのぼす。車寄などの開口部の半円アーチによる構成、青緑色のスパニッシュ瓦葺屋根など、全体をスパニッシュでまとめている。現存する日本のゴルフクラブハウスとしては最古とされている建物

大規模改修後（令和2年）



竣工写真（昭和7年）

